

## 薬師寺慈恵病院の建て替えについて 背景

薬師寺慈恵病院は岡山県南西部保健医療圏に属する、総社市に位置する病院です。1957年に有床診療所として開設後、1963年に薬師寺慈恵病院となり、以後総社市で医療を行なっております。1970年に救急告示病院として認定され、医療圏における病床機能区分として「回復期」に区分されていますが、一般病床18床、地域包括ケア病床13床、療養病床33床の合計64床で運用し、救急医療から療養までを担ってまいりました。コロナ禍においては早期から入院患者を受け入れる体制を整え、地域包括ケア病床を一般病床に転床する形で対応し、令和4年6月現在、一般病床25床、地域包括ケア病床6床、療養病床33床の合計64床で運用しております。

これまで、年間3,000件ほどの総社消防の救急搬送の70%程度は市外搬送となっておりましたが、令和3年1月から救急科専門医の院長が就任し、市内の2次救急医療の受け皿となるべく、さらに努力をしているところです。令和3年度の救急搬入件数は630件と前年度の3倍以上となっており、令和4年はさらに搬入件数は増えております。地域で安定して医療を提供するにあたり、施設の老朽化が進んでいること、時代の変化とともに望まれる医療水準が高度化していることから、施設のリニューアルを検討しておりました。

### 診療時間外対応数と救急搬送状況

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
診療時間外受入患者数 (当番医実績は除く)	229	191	224	204	256	171	243	702 人
救急車搬送数	51	63	87	86	124	92	195	630 件

### 新型コロナウイルス感染症入院患者受入数

			R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R2 年合計
			0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R3 年合計
7	1	2	12	37	3	4	22	11	0	3	0	102
R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6							R4 年合計
12	25	17	12	6	2							74

R4.6.17 現在

## 薬師寺慈恵病院の建て替え及び病床移転について

このような状況の中で、当施設の近隣に位置する有床診療所、医療法人雄栄会角田医院の理事長 角田光男先生が 2022 年 3 月に急逝され、医療法人雄栄会の維持、診療継続が困難という状況になりました。総社市では角田医院と杉本クリニックのみが透析診療を行っており、杉本クリニックではすでに患者は飽和しており、透析患者は市外に頼らざるを得ない状況が見込まれました。また、透析可能な入院医療機関は市内で角田医院のみであり、地域から外来および入院透析が可能な医療機関が失われる事態を回避するために、当法人で 2022 年 5 月から診療所として透析診療と病床を引き継いでおります。透析に関しては、これからも安定した医療を提供すべく、薬師寺慈恵病院のリニューアルに合わせて環境整備を行なっていきたいと考えております。現状、総社市民で新規透析導入となる場合、また入院継続しつつ透析が必要になる場合は市外に行かざるを得ず、既に透析患者の転院に関する問い合わせをいただいておりますが、J I K E I クリニックでは現在はお受けできていない状況です。

なお、角田医院で管理していた高齢者施設等への訪問診療も、地域の訪問診療を行う診療所と協力して管理を継続しております。施設等から入院が必要になった場合の受け皿として、角田医院が運用していた急性期病床 19 床が地域にと

って重要になっております。現状、当院は回復期でありながら、予定より早く、転床・退院を促している状況で、平均在院日数が10日を下回ることもあります。退院促進のみでは市外急性期病院からの即時転院受け入れや、救急受け入れが難しくなる場面もでてきております。昨今は高梁市や吉備中央町からの救急搬入依頼も増加しており、更なる病床の有効活用が望まれるかと考えます。ここで薬師寺慈恵病院のリニューアルに伴い、現在診療所として引き継いだ19床の病床を、薬師寺慈恵病院に移転するものです。

#### 市外からの救急搬送状況

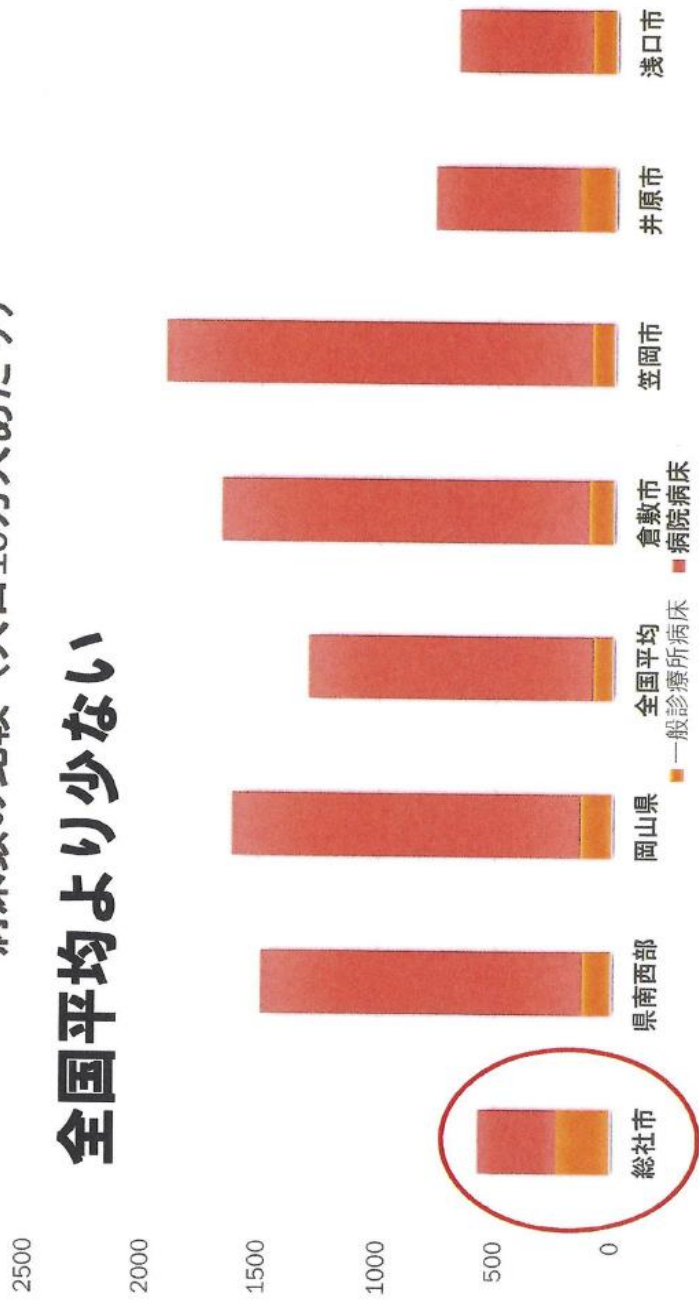
	令和1年度	令和2年度	令和3年度
市外からの搬送数	2件	11件	35件 ↑

総社市の人口あたりの一般病床数、回復期病床数を考えても、地域としては少ない病床数の中で医療を行っており、地域として病床が突然減少することは、市民への医療サービスの低下につながります。角田医院が運用していた急性期病床19床を、今後区分としては回復期として薬師寺慈恵病院に移転し、救急医療の一層の充実、入院透析医療の提供、そしてこれまで行ってきた急性期から在宅までをシームレスに繋ぐ、本来の回復期としての機能を担保し、地域に根ざした医療を継続することで、県南西部保健医療圏内における地域医療構想のスムーズな実現に寄与できると考えます。

# 地域医療資源 (病床数)

病床数の比較 (人口10万人あたり)

全国平均より少ない



薬師寺慈恵病院の建て替えについて 詳細

## 設計理念 (基本コンセプト)



岡山県南西部の中核都市・総社市の市街地中心部にあって、  
地域住民に寄り添った医療活動のさらなる充実を図るとともに、  
県南西部の広域的救急医療を担う2次救急医療機関として  
必要かつ十分な規模と設備を備えた病院の再構築を図る。

○住 所

現在：総社市総社一丁目 17 番地 25 号

建て替え後：同上(敷地内移転)

○建築概要

現在：敷地面積 約 4,500m<sup>2</sup>、3 階建て、延べ床面積 2258.92 m<sup>2</sup>

建て替え後：敷地面積 約 4,500m<sup>2</sup>、6 階建て、延べ床面積 6905.01 m<sup>2</sup>

○病床

現 病 床	建て替え後病床
薬師寺慈恵病院 (計 64 床) (一般) 回復期 31 床 [ 一 般 25 床 地域包括 6 床 ] (療養) 慢性期 33 床	(一般) 回復期 50 床
角田医院 (計 19 床) 急性期 19 床	(療養) 慢性期 33 床 計 83 床

○スケジュール

着工予定：2023 年 2 月予定

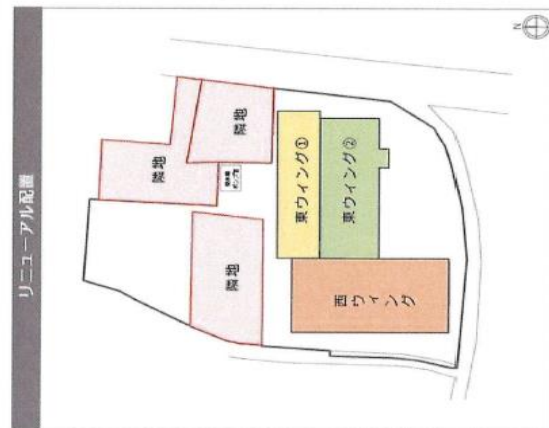
竣工予定：2027 年 2 月予定

# 配置計画



構造・規模 鉄筋コンクリート造・3階建・塔屋1階  
面積 延べ床 2258.92㎡

64床



構造・規模 鉄骨造・6階建・塔屋1階  
面積 1階 1449.78㎡ 5階 935.75㎡  
2階 1419.49㎡ 6階 516.76㎡  
3階 1262.70㎡ 塔屋 67.83㎡  
4階 1262.70㎡ 延べ床 6915.01㎡

83床

## 工事概要

計画地 住所：総社市総社1丁目 用途地域：近隣商業地域 防火規定：準防火地域  
敷地面積：約4,500㎡ 建築率・容積率：80/200  
建設可能な規模（建築面積/延べ床面積） 3,600.0㎡/9,000.0㎡